

EK-0800 ライトユニット 説明書

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。この説明書、下記の注意書きなどをよくお読みの上、お楽しみください。

【はじめに】
点灯化キットは、鉄道コレクションに、集電システム、ライトユニット、室内灯を組み込み、ヘッド・テールライト、室内灯を点灯させるためのキットです。
本キットは、以下の車種に対応します。
・江ノ島電鉄800形
本キットは、トレーラー車、動力ユニット付き車、どちらにも対応します。(チラツキ対策を施しています。)

注意

- ・この商品は15歳以上のお客様にのみお楽しみいただける商品です。
- ・機能上小さな部品が使われており、誤飲の危険がありますので、3歳未満のお子様には絶対に与えないでください。
- ・機能上尖った部分があります。取り扱いには十分ご注意ください。
- ・加工の際の刃物や工具の取り扱いには十分ご注意ください。
- ・加工、組立の際に出たクズは、すぐに捨ててください。
- ・接着剤・塗料は、火気のない場所で、換気に注意してお使いください。
- ・車両は必ず直流(DC)12V以下で運転してください。交流(AC)は絶対に使用しないでください。
- ・ライト類は必ず動力車と編成を組んだ状態で点灯させてください。また、停止させたま長時間点灯することはおやめください。
- ・脱線した場合、動力車やパワーユニットが発熱する恐れがありますので、直ちに電源を切り、復旧させてください。
- ・当キットのライトユニット・室内灯は、1両あたり合計最大約30mAの電流が流れます。電源の容量をご確認の上、お楽しみください。

【パッキングリスト】
このキットには、以下の材料がセットされています。加工を始める前に不足がないかお確かめください。

【ライトユニット】

- ・ライトユニット : 1個/セット
- ・チラツキ防止ユニット : 1個/箱

【その他】

- ・説明書(本紙) : 1枚
- ・導電性アルミテープ(15mm×約120mm) : 3枚/箱


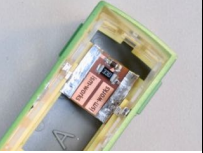


※導電性アルミテープは、楊枝や綿棒などを使って、しわを伸ばすようにして、しっかりと張ってください。
※導電性アルミテープは、導電性の接着剤が塗布されていますが、何度も貼り直していると導電性が失われていきます。接着剤の導電性を活用する箇所では、一度しっかり貼ってしまったアルミテープの再利用は避けてください。

【必要な工具】

- ・カッティングマット
- ・ピンセット
- ・ニッパ
- ・プラスチックドライバー
- ・両面テープ
- ・木工ボンド
- ・ポリエステルテープ(ニチバン「マイラップ」、セメダイン「ラビー」など)
- ・カッターナイフ(デザインナイフが望ましい)
- ・楊枝、綿棒など
- ・ピンバイス(0.3mm、0.5mm、0.8mm、1.0mm)
- ・精密ヤスリ(平、丸、半丸など)
- ・ゴム系接着剤
- ・プラモデル用接着剤
- ・直定規
- ・塗装面を保護する柔らかい布
- ・ボンチ(プッシュピンなどでも可)
- ・サンドペーパー
- ・マスキングテープ
- ・瞬間接着剤
- ・遮光用の塗料(黒または銀)

●取り付け手順

1. 分解する				2. 車体を加工する	
1-1 床板を外す	1-2 バンタグラフを外す	1-3 側窓を外す	1-4 前面透明パーツを外す	2-1 前面透明パーツの加工	
					
車体と床板の間を押し広げ、床板を外します。	バンタグラフを、脚を楊枝などで内側から押し外します。	側窓を、前面透明パーツとの噛み合部をコジって外します。	前面透明パーツを、ボディとの隙間を精密ドライバーなどでコジって外妻面の窓が外れますので、紛失しないように注意します。	前面透明パーツを、窓下のリブの中央で切断します。ライトレンズ部分は使用しないので保管します。	
3a. 床板を加工する			3b. 動力ユニットを加工する		
(トレーラー車の場合)			(動力ユニットを組み込む場合)		
2-2 側窓を加工する					
側窓4つが前面側	切り取る	切り取る	切り取る	切り取る	0.5mm削り取る
側窓前端下部を、乗務員室窓の前下の角を通る45度の線で切り取ります。	床板前端の両サイドを切り欠きます。枕木方向はダミーカバーの取付け穴まで、線路方向はTNカバーの台座の手前まで切り欠きます。	シート前端の運転台機器より前の部分を切り取ります。	動力ユニットのフレーム前端の両サイドを切り欠きます。枕木方向はスペーサー取付け穴の内側まで、線路方向はフレーム前端の垂直リブまで、切り欠きます。	切り欠いた部分を、線路方向に更に0.5mm、ヤスリで削り取ります。	
4. ライトユニットを取り付ける					
(3bつづき)		4-1 前面窓を取り付ける	4-2 ライトユニットを取り付ける	5-3 側窓を取り付ける	
					
スペーサーをゴム系接着剤で取り付けます。接着剤は、フレーム前端中央の未加工の部分のみに塗布します。		スペーサーを、ダミーカバーの取付け穴の外側で切断します。	前面窓をはめ、両面テープで固定します。	ライトユニットをはめ、両面テープで固定します。	
まず裏面の窓をはめます。次いで側窓をはめ、両面テープで固定します。					
5. 配線する					
5-1 側窓下の凸部にアルミテープを貼る		5-2 ライトユニットへ配線する		5-3 チラツキ防止ユニットの取付(M車のみ)	
					
床板との嵌合部の凸部に、5mm×5mmのアルミテープを貼ります。テープの先端が車体裾に接するように貼ります。車体の四隅の嵌合部に貼ります。		1.5mm×14mmのアルミテープで、側窓下からライトユニットの給電パッドまで配線します。		ライトユニットの給電パッドの通電の確実を期して、2.5mm×5mmのアルミテープを重ね貼ります。	
		※必ず1.5mm幅の細いテープを使用します。太いテープはかえって通電を悪化させます。		※重要なテープですので、新鮮なテープを使用し、シワを伸ばすような感じで、しっかりと圧着します。	
				M車の場合は、チラツキ防止ユニットを取り付けます。まず裏面側の天井に、両面テープでチラツキ防止ユニットを取り付けます。	

(5-3つづき)		5-4 側窓下をアルミテープで結ぶ	
			
<p>1.5mm × 13mmのアルミテープで、チラツキ防止ユニットの通電パッドから、側窓下まで配線します。</p> <p>※必ず1.5mm幅の細いテープを使用します。太いテープはかえって通電を悪化させます。</p>	<p>チラツキ防止ユニットの通電パッドの通電の確実を期して、2mm × 10mmのアルミテープを重ね貼ります。</p> <p>※重要なテープですので、新鮮なテープを使用し、シワを伸ばすような感じで、しっかりと圧着します。</p>	<p>室内灯も取付ける場合は、この作業は室内灯の取付後に行ないます。</p> <p>3mm × 80mmのアルミテープを使って、側窓下端に沿って、ライトユニット・チラツキ防止ユニットへの配線、室内等への配線、前の嵌合部、後の嵌合部を接続するように貼ります。</p> <p>※重要なテープですので、新鮮なテープを使用し、シワを伸ばすような感じで、しっかりと圧着します。</p>	

●室内灯を取り付ける場合

- ・天井の平らな部分の幅が約9.8mmであるのに対して、室内灯の幅は10mmのため、そのままでは取り付けられません。
- ・室内灯を取り付ける場合、室内灯の基板の両サイドを、金属加工用の平ヤスリで削ってください。
- ・室内灯の基板は固い素材のため、プラスチック用のヤスリでは削れません。必ず金属加工用のヤスリを使用してください。

